

ようこそようこそ鳥取県運動取組指針(案)に係るパブリックコメントの実施結果等について

平成22年5月7日
観光政策課

1 パブリックコメントの募集等

ようこそようこそ鳥取県運動取組指針(案)について、以下のとおり県民のから意見を募集しました。

- (1) 募集期間 平成22年3月24日(水)から4月14日(水)まで
- (2) 周知方法 ホームページ、新聞広告、市町村及び各種団体への通知
- (3) 応募件数 21件

2 主な意見と対応方針

(1) 推進体制について

意見内容	対応方針
観光に従事する行政担当者・観光事業者は、この県民運動を理解して当然。鳥取県に住んでいる人達に県外外国観光客を心よく受け入れる仕組みづくりが必要である。	・県民が一体となって本県の観光振興を推進していくため推進協議会を設置するが、観光振興の取組は、地域における創意工夫に基づいて主体的に行われることが基本である。このため、市町村や地域の自発的な取組を促進するよう努める。 ・国外からの観光客の受入促進については、国際観光アクションプログラムを策定しているところである。
協議会を組織し実施することにより、各取組主体の自由な活動が制約されることになったり、現段階ではまだ推進できないことに取組むことにより、地域に無理を生じさせることになりかねない。 また、協議会は各々が意見を言うだけの会となってしまうのではないか。	
市町村の役割に、「…県が実施する観光の振興に関する施策に連携・協力するよう努める。」とあるが、「…各地域における県民、観光事業者、観光関係団体が実施する施策に連携・協力するよう努める。」ではないのか。逆に、県の役割は、「県民、観光事業者、観光関係団体、市町村が実施する観光の振興に関する施策に連携・協力する。」ではないか。	市町村及び県の役割について、意見内容を加える。

(2) 具体的な取組について

意見内容	対応方針
観光客をもてなすため、観光地及び主要な駅前等の美化を推進する。	あいさつ運動、美化運動等を奨励していく。
おいしいきれいな空気が保障されなければ、観光客への温かな心配りにはならないため、受動喫煙の防止が必要不可欠なものと思う。路上喫煙・タバコのポイ捨ての禁止、飲食店や土産物屋、観光スポット、観光イベントでの喫煙禁止、ハイヤー・タクシーの禁煙化も必要不可欠である。	県としては健康づくりの一環として公共施設や飲食店等に分煙、禁煙の働きかけを行っているところであるが、さらに、観光関係団体にも働きかけを行う。 また、具体的な取組例として追加する。
観光地 - 観光地間の二次交通の案内をわかりやすくする。(主要駅・空港～観光地、観光地～観光地の具体的なアクセス方法や時間などの案内。)	鳥取バス旅マップを作成するなどして案内しているが、今後とも積極的な周知を行う。

意見内容	対応方針
観光客と地域住民との心の交流がはかれれば、きっとまた来たいという思いになる。ボランティアガイドはその窓口の一つである。今後は、ボランティアガイドの育成、組織化の推進とともに、ボランティアガイドに対する待遇の向上も必要ではないか。	県内のボランティアガイド組織の連携を図り、切磋琢磨することによる資質向上、観光客に他のボランティアを紹介できるような取り組みを進めていく。
年配層が主な観光客のイメージがあるので、幅広い年齢層に対応できるように整備が必要である。 (例)子育て世代のため、観光施設や駅に授乳室やおむつ替えスペースの設置。	取組指針では、すべての人が安心して快適な観光を楽しめる環境整備の推進にも取組こととしている。
具体的な取組が具体的にない。具体的な取組を更に細分化し、誰が、いつ、どのように行うのか示してほしい。また、スケジュールが重要である。	具体的な取組は地域が主体的に行うことで、県としては取組を促進するよう努める。

(3) その他

意見内容	対応方針
JR利用で鳥取に来る方はほとんど智頭線を利用されるが、JR全線使用可能な高齢者専用クーポン等では、智頭急行はJRとは別会社であることから、智頭線利用時に差額が必要となる。鳥取への旅行を制限するようなことになるので、差額を取らない工夫をしてほしい。	フルムーン夫婦グリーンパスなどについては、JR6社間の調整が困難なことから、第3セクター等の別会社の区間では利用できないことになっているが、今後もJRに対して利用できるように働きかけを行っていきたい。
名物料理コンテストや西部の白ねぎ料理認定店の動きは大変良い。観光客が旅行先を選ぶにあたり「食」は大変重要なキーワードだと思うので、コンテストなどで生まれた名物料理をうまく全国へ売り込んでいってほしい。	県では、食のみやこ鳥取を推進しているところであり、今後も積極的に取り組んでいく。
首都圏での鳥取に対する認知度はとても低いと感じた。鳥取県で知られていることは、ほとんどの方が鳥取砂丘のみ。鳥取砂丘は知っていても、鳥取県の場所を知らない人もいる。まずは、鳥取県の認知度を増やしていくことが必要だと思う。	今後とも積極的に取り組む。